

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 1日

事業所名：レインボーキッズメソッド丹原

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100				100				広々としたスペースがある。	
	2 職員の適切な配置	33	34	33	役割分担をして、限られた人数の中で工夫している。	40	20		40	入れ替わりが多く、少しとまどっている。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	83	17			93	7			個別にゆっくりできるスペースが確保されている。	利用者にあった構造化を引き続き実施する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100			児童の利用後、毎日室内の消毒や整理などを行っている。	100				よく見てくれていると思う。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	67	33			/	/	/	/	/	/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	50	33	17		/	/	/	/	/	アンケート調査を検討中である。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	50	33	17	研修の機会が十分に作れていない。	/	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100				93	7			よく話を聞いてくれている。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	66	17	17		100				何が今困っているか、きちんと把握してくれている。	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100				/	/	/	/	/	集団活動を前提としたレクリエーション活動の強化を図る。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	83	17		まだまだ事業所内の共有が不十分な場合がある。	100				していると思う。	
	5	67	33								行事計画作成時、より多くのスタッフの意見を取り入れる。
	6	83	17		複数のスタッフで意見を出し合い、工夫している。	80	13		7	毎月、活動をシャッフルしている。	
	7	67	33		平日と休日では活動内容を変えている。						
	8	100			当日勤務のスタッフは特に意識して確認を行っている。						
	9	100									特に意識して行うようにする。
	10	67	33		サービス記録帳を活用している。						
	11	83	17								
関係機関との連携	1	83	17		子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画						
	2	50	50		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	50	50								
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	83		17							会議等への積極的な参加を試みる。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	67	33		ケースによっては、積極的に連絡をとっている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	83	17								情報を積極的に取り入れ、機会を増やしていく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		67	33		7	20	7	66	コロナの問題もあるのかもしれないが、機会が少なく思える。	年1回以上、行事を通して交流する場を設ける。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	17	66	17							年1回以上、行事を通して交流する場を設ける。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100				93	7			その都度説明してくれているが、説明が後手になっているような時がある。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100				93	7			前回と比べ、どこが変わったかを教えてくれる。	
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	50	50		知識不足が否めない。	40	20		40	本人の困りごとについて、どうしたらいいかアドバイスしてくれている。	まず、学習の機会を増やしていきたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100				100				毎回の利用の際に本人の様子を詳しく伝えてもらっている。ノートに毎回書いてくれる。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	83	17			80	13		7	日々の様子であったり、特に面談の際に助言いただいている。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		67	33		7	7	33	53	今はほぼしていないと思う。	年1回以上、行事を通して交流する場を設ける。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100			関係機関とも協力して対応をおこなっている。	53			47	苦情を言ったことがないので分からない。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100				100				LINEで連絡が取れたら助かる。活動の様子を写真で送ってくれたりすると分かりやすい。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	67	33			73	13	7	7		LINEなどの連絡ツールを活用する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100				100				してくれていると思う。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	83	17			87			13	その都度、プリント等をくれる。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100				87			13	活動の内容の中で、定期的に訓練がある。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	17	83			/	/	/	/		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	33	67			/	/	/	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	33	67			/	/	/	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	83	17			/	/	/	/		必要性の周知の徹底を行っていく。